

# 特別委員会報告

## ILC誘致及び国際科学技術 研究圏域調査特別委員会

12月12日の委員会で「ILC誘致に係る奥州市のまちづくり計画」と「関係機関との連携」について調査しました。

誘致の実現のためには広域での連携が重要

であり、奥州市・一関市・気仙沼市の3市や、奥州市国際交流協会をはじめとする関係団体との連携を図りながら、岩手県はもとより東北地方一丸となった取組

みを推進すべきという意見が出されました。また、新幹線の車内雑誌を活用したPR方法も提案されるなど、ILC立地が正式決定した後、速やかにアクションを起こせるよう早い段階での取組みの必要性があげられました。



市の取り組みを説明する小沢市長

## 地域医療特別委員会

12月12日の委員会で「医療と介護の連携」「医師確保対策の現状」及び「医療局設置の進捗状況」について調査しました。

第6期介護保険事業計画の内容を中心に質疑が行われ、医師確保

対策について医師が働き続けたいと思う環境整備を住民と一体となって行うことの必要性や、訪問介護事業を検討している事業所に対する市の支援策の早期実施についてなどの意見

も出されました。今後も県の保健医療計画の内容や県立病院との連携について調査することを確認しました。



地域医療について活発な議論を広げる

### 第3回臨時会

## 平成26年度補正予算議案

# 4件を可決

市議会臨時会を11月4日に開催しました。臨時会では水沢南中学校校舎大規模改造建築工事請負契約の変更、スクールバス更新などに伴う財産取得の4件を原案通り可決しました。

当初予算にきちんと盛り込むべき」との意見がありました。市長は「一定の基準づくりや明確化に努力する」と答えました。

財産取得を求める議案は3件提案されました。中型スクールバス

水沢南中学校の大規模改造は、平成25年9月に請負契約を締結しましたが、調査で補修箇所が相次いで見つかったため契約を変更しました。変更は今年8月に次いで3度目で、2度目の変更後の額に4256万7120円増額し、2億8167万8640円に改めました。

を胆沢第一小学校に1台と水沢南中学校に2台、計4677万3900円、前沢小学校に大型スクールバス1台を2284万6730円。江刺区内で運行される市営バス用小型ステップバス3台を5383万5150円で取得します。購入経費は全額「がんばる地域交付金」や「地域元氣臨時交付金」を財源にしています。

「さまざまな施設が老朽化しており改修が必要になった場合、今回の件を参考にする必要がある。